

## 藍住東小学校で河川環境学習を開催しました。

藍住東小学校4年生の児童を対象に、「正法寺川をきれいにするための取り組み」について学習した後、「汚水のお話」で自分達が普段どのくらい水を使用しているか、また污水处理施設のことや汚水がきれいになるしくみ等について学びました。最後に、身近な川の水や生活排水の水質検査、透視度検査を体験し、水をきれいにする事の大切さを学びました。

### 【実施概要】

日 時：平成23年6月24日（金）10：40～12：10

場 所：藍住東小学校 合同教室

参加者：藍住東小学校 4年生 2クラス 60名  
徳島県 河川整備課 3名  
徳島県 下水環境課 2名  
藍住町 下水道課 3名  
フジタ建設コンサルタント 5名

内 容：1 正法寺川をきれいにするための取り組み 徳島県 河川整備課  
2 汚水のお話 徳島県 下水環境課  
3 水の汚れの原因（水質実験 パックテスト） フジタ建設コンサルタント

感 想：身近な川をきれいにするために、いろいろな取り組みをしていることが分かりました。汚水をきれいにする仕組みや、いろいろな微生物が水をきれいに行っているのが分かり、とてもおどろきました。  
普段飲んだりしているものが、水を汚している原因となっているので、できるだけ排水口に流さないようにしようと思いました。

### 【活動状況】

○「正法寺川をきれいにするための取り組み」



藍住町は人口密度が高く、そのために正法寺川の水が汚れやすい環境であるということや、正法寺川が徳島県の川の中でも水質が悪い方であるということについて学びました。その他、正法寺川に生息する生物や、川をきれいにするための県や住民の取り組みの内容について学習し、川の環境を守っていくことの大切さを学びました。

○「汚水のお話」



次に、汚水や汚水処理施設について学習しました。水をきれいにする微生物の動画スライドを見たり、自分達が普段使って汚れた水が、どこでどのようにしてきれいになっていくのかを学びました。



『マンホールのフタ実験』

○、△、□のうちどれが落ちないかという実験をして、○の形をしたフタだけが落ちないということがわかりました。

『トイレトペーパー等を使った実験』

紙は水に流してもいいかということで、ティッシュペーパー、トイレトペーパー、新聞紙を使って実験をしました。結果は、トイレトペーパーだけが水に溶けました。



休憩時には汚水等のサンプルを見たり臭いを嗅いだりして、子供達はとても興味深く学習に取り組んでいました。

○「水の汚れの原因」水質実験（パケットテスト、透視度測定）

最後に、水の汚れの原因となる生活排水を身近にある食品（牛乳、みそ汁、しょうゆ等全8種類）を用いて作り、パケットテストでCOD（化学的酸素要求量）を測定し、どのくらい水を汚すかを調べたり、正法寺川と吉野川の透視度を測ったりしました。また、残した食べ物を安易に流しに捨てることによって川がどれほど汚れてしまうかを知り、水質浄化のために自分達ができることを学びました。



パケットテスト(COD)結果

①正法寺川	10 mg/l
②吉野川	10 mg/l
③米のとぎ汁	10 mg/l
④日本酒	50 mg/l
⑤みそ汁	20 mg/l
⑥しょうゆ	20 mg/l
⑦ラーメンのスープ	20 mg/l
⑧牛乳	20 mg/l
⑨コーンスープ	20 mg/l
⑩焼肉のタレ	100 mg/l

各クラスの代表者が前に出て、実験をしました。

パケットテストの色の変化に子供達はとても興味深々でした。



正法寺川の水と、吉野川の水の透視度を測定しました。

測定結果は、正法寺川→25cm、吉野川→77cm で、吉野川の水の方がきれいということがわかりました。

○質問タイム



「微生物は何種類位いるのか?」「汚泥は1日に何グラム出るのか?」等たくさんの質問がありました。子供達の知的好奇心や環境学習に対する意欲が感じられました。